

知ってほしい地域医療のこと 最終回(全3回)

問 健康推進課(☎65-7779)
北部健康推進センター(☎85-6420)

【湖北地域の救急医療の現状】

長浜赤十字病院 救急部長

中村 誠昌先生



当院救命救急センターは、県内に4か所ある第三次救急の指定を受けた施設です。救急受診者は年間最高で4万2千人に達したときがありました。16万5千人の地域でこの数は異常で、一因として小児科受診の急増があります。

そこで、小児科病院輪番制により自由な受診を制限し、現在2万5千人程に減少しました。

医師として、本当に緊急的な医療が必要な人への対応は、さほど苦痛ではありませんが、軽症もしくは救急受診自体不要な患者さんとのトラブルは、最も疲弊します。

夜中でも高度な検査や専門医の診

湖北の地域医療の現状について、医療関係に従事している皆さんから現場の声を3回シリーズでお届けしています。

療を要求され、罵声を浴びせられたりすることもあります。

現在、湖北の医療体制は危機的です。市内にある3病院では常勤医が減少し、閉鎖に近い診療科が増加しています。医師確保はお金では解決できません。湖北の救急を体験した医師からの評判が県内中に拡がり、湖北勤務に二の足を踏ませます。

このままでは内科・外科と診療制限は拡がるでしょう。救急医療を守るため、医療関係者、地域住民、行政等、皆さんで何ができるのか考えていきたいと思います。

3回にわたり湖北の地域医療の現状についてお届けしてまいりました。

安心して医療を受けられる環境を維持できるかどうかは、皆さんの理解と協力にかかっています。本当に困ったときにはいつでも、近くで医療を受けられるよう、ご協力をお願いします。

長浜ブランドの定着に一役！

問 商工振興課 ☎65-8766



宝くじの助成を受け、長浜バイオクラスターネットワークがビワマスのPRツールを作成しました。

この助成は、(財)自治総合センターが、宝くじの収益を地域に還元するために実施しているもので、新たな長浜ブランド「ビワマス」がより広く親しまれることが期待されます。

作成したPRツール

・ビワマスの魅力を伝える動画

↓ホームページ「ビワマスを愉しむwith長浜」
(<http://www.biobiz.jp/n-biwasalmon/>)

で紹介中

・リーフレット

・はく製

・キャラクター



▲キャラクター



▲はく製

『おたっしや券』を交付します

問 長浜市老人クラブ連合会事務局(市民交流センター内)
☎65-7822
または各支部事務局

高齢者の生きがいや外出のきっかけをつくり、老人クラブなどへの参加を促すための「おたっしや券」が、老人クラブ連合会から交付されます。お近くの老人クラブ連合会事務局で申請してください。

【対象】 65歳以上の人

【助成額】 1000円分

【利用できる施設・事業】

公民館主催講座、文化スポーツ事業団主催事業、鍼灸マッサージ、温泉施設、バス、タクシーなど

※有効期限：平成26年3月31日

このコーナーでは、市立長浜病院のスタッフの紹介を兼ねて、「普段の生活での予防法」など生活に役立つ“健康豆知識”を紹介します。

市立病院通信 -25-

お元気ですか



市立長浜病院 整形外科
廣瀬 伸次 先生

関節リウマチの 治療について

関節リウマチは、体のあちこちの関節が痛くなる病気です。約200人に1人が発症すると言われていて、従来は「不治の病」と言われ、関節破壊が進行していき、治る見込みのない病気と考えられていました。

しかし、10年ほど前に生物学的製剤が登場して以来、関節リウマチの治療は劇的な変化を遂げています。生物学的製剤は、最新のバイオテクノロジーを駆使して開発された薬で、関節リウマチの原因となっている炎症物質をターゲットとし、直接炎症を抑え込んでしまします。生物学的製剤の特徴は、①

問 市立長浜病院
☎68-2300(代表)

強力な抗炎症作用と②関節の骨の破壊をほぼ完全に抑制できることの2点です。その治療効果は当時世界中のリウマチ医が驚くほど劇的なものでした。生物学的製剤は、発売当初は重症のリウマチ患者さんに、秘密兵器として使われていましたが、最近では早期から生物学的製剤を使用することで関節破壊を止め、患者さんのQOL(生活の質)の維持をめざした治療がなされています。もちろん、従来の薬剤でも関節リウマチの症状や進行をコントロールできる場合もたくさんありますが、生物学的製剤の使用により、多くの患者さんが健康な人と同様の日常生活を送ることが可能になりました。

関節リウマチの治療は従来のCARE(手当て)をめざした治療から、CURE(完治)をめざした治療の時代になったと言われてい

健康フェスティバルを開催します！

問 NPO法人健康づくり0次クラブ事務局(☎50-3191)

「幸せは心と体の健康から」をテーマに、趣向を凝らした催しがいっぱいです。

ぜひ家族そろって遊びにきてください！

また、市の特定健診・がん健診の予約も受け付けます。

【とき】

5月19日(日)10時～16時

【ところ】

長浜バイオ大学(田村町)

【内容】

●体のひろば…血管年齢測定、救命救急体験、歯科検査、骨密度測定、睡眠・いびき相談、糖尿病相談、血糖値測定、がん相談など

●こどものサイエンス…『京大の教授と楽しく語るサイエンス』、『わかるかな？バイオについてみんなで学ぼう』、『3Dで人体の中を探検してみよう』

●0次カフェ(健康講座)…『PM2.5の健康影響』、『月経とうまくつきあう』、『今でしょ！』『私はできる！』の魔法から

●講演会…『認知症…アルツハイマー病の謎に挑む』『腸内細菌と健康のはなし』

市立長浜病院 公開講座のお知らせ 〈がん・緩和ケアシリーズ 第1回公開講座〉

問 がん相談支援センター(☎68-2354)

しこりを見つけてから検査・治療まで、あなたの不安にお応えします。

【とき】 5月23日(木) 14時～15時

【ところ】 市立長浜病院 2階 講堂

【テーマ】 乳がんになったら～あなたの不安にお応えします～

【講師】 乳がん看護認定看護師 岩島 麻衣子

【対象】 どなたでも 【参加費】 無料

●飲食ひろば…余呉そば、焼きそば、フランクフルト、ソフトクリームなど
●ちびっこひろば…高規格救急車見学、光るメダカの観察、ダブルダッチ、ふわふわ怪獣など
●献血バス(400ml全血)
※内容については、一部変更になる場合があります。